

積算内訳書

記載例

入札参加資格申請時の使用印鑑
届に押印した印を押印する。

会社名 ○○株式会社○○支店
支店長 ○○ ○○ 印
氏名 代理人 ○○ ○○ 印

この欄の記載内容が、入札書と一致しない場合は無効となります。

委任状の使用印と同じものを
押印する。

工事名 令和○○年度 工事 第 ○ 号
○○○○工事
工事場所 滋賀県犬上郡豊郷町○○○○

費目・工種等	単位	数量	単価	金額 (円)	備考
■直接経費 A (①+②)	式	1.0	—	28,350,000	
①直接工事費		1.0	—	24,650,000	
(内訳) 土工		1.0	—	9,850,000	
排水工		1.0	—	12,000,000	
舗装工		1.0	—	2,000,000	
雑工		1.0	—	800,000	
仕様書にない項目は付け加えない(例:値引き等)。					
②共通仮設費 (積上分)	式	1.0	—	3,700,000	・必要な経費を計上のこと
■間接経費 B (③+④+⑤)	式	1.0	—	8,200,000	
③共通仮設費 (率計上分)	式	1.0	—	1,500,000	・必要な経費を計上のこと
④現場管理費	式	1.0	—	3,500,000	・必要な経費を計上のこと
⑤一般管理費	式	1.0	—	3,200,000	・必要な経費を計上のこと
■工事価格 A+B	式	1.0	—	36,550,000	・入札書記載価格に合致のこと

内訳の工種欄が不足する場合は、別に積算内訳書(様式任意)を添付する。
別に積算内訳書を添付する場合は、(内訳)欄に「別紙のとおり」と記載する。

(注1) 積算内訳書の工事価格と入札書記載金額が一致しない場合や積算内訳書の積算内容が適当でないものは無効とします。

(注2) イメージアップ経費(率計上分、積上計上分とも)を計上する場合は、共通仮設費(積上分)に含めること。